

第161回 日商簿記検定試験 1級 一原価計算一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 予算編成

1. 計画販売量、材料消費量の整理

材料		仕掛品		製品	
月初在庫 55kg	投入量 42,500kg	月初在庫 500単位 (250単位)	生産量 85,000単位 (85,000単位)	月初在庫 —	販売量 80,000単位
購入量 42,495kg	月末在庫 50kg	投入量 85,000単位 (85,000単位)	月末在庫 500単位 (250単位)	生産量 85,000単位	月末在庫 5,000単位
		(*) () 内は加工換算量			

(*) 材料投入量：85,000単位(投入量)×0.5kg(標準消費量)＝42,500kg

2. 1月末予算貸借対照表の作成 (単位：千円)

現金	2,930	買掛金	65,316.3
売掛金	306,800	その他貸方項目(差額)	302,419.7
貸倒引当金	△ 1,534		
製品	0		
材料	165		
仕掛品	975		
建物	15,000		
機械設備	199,400		
減価償却累計額	△ 156,000		
	367,736		367,736

(*) 材料：55kg(材料・月初在庫)×3,000円(標準単価)＝165千円

(*) 仕掛品：500単位(仕掛品・月初在庫)×1,500円(直接材料費原価標準)
＋250単位(仕掛品・月初在庫加工換算量)×{250円(直接労務費原価標準)＋650円(製造間接費原価標準)}＝975千円

3. 2月中に予定される会計処理 (単位：千円)

(1) 売上

(借) 売掛金	320,000	(貸) 売上	320,000
---------	---------	--------	---------

(*) 80,000単位(販売量)×4,000円(販売単価)＝320,000千円

(2) 売掛金

(借) 現金	306,800	(貸) 売掛金	306,800
--------	---------	---------	---------

(3) 材料

(借) 材料	127,485	(貸) 買掛金	127,485
--------	---------	---------	---------

(*) 42,495kg(材料購入量)×3,000円(標準単価)＝127,485千円

(4) 買掛金

(借) 買 掛 金	129,058.8	(貸) 現 金	129,058.8
-----------	-----------	---------	-----------

(*) 127,485 千円(上記(3)買掛金) + 65,316.3 千円(月初買掛金) = 129,058.8 千円

(5) 労務費

(借) 労 務 費	21,250	(貸) 現 金	21,250
-----------	--------	---------	--------

(*) 85,000 単位(当月加工量) × 250 円(直接労務費原価標準) = 21,250 千円

(6) 変動製造間接費

(借) 変 動 製 造 間 接 費	21,250	(貸) 現 金	21,250
-------------------	--------	---------	--------

(*) 85,000 単位(当月加工量) × 250 円(変動製造間接費原価標準) = 21,250 千円

(7) 固定製造間接費

(借) 固 定 製 造 間 接 費	40,000	(貸) 現 金	38,500
		(〃) 減 価 償 却 累 計 額	1,500

(8) 販売費・一般管理費

(借) 販 売 費	40,026	(貸) 現 金	90,101
(〃) 一 般 管 理 費	30,050	(〃) 減 価 償 却 累 計 額	59
(〃) 研 究 開 発 費	20,150	(〃) 貸 倒 引 当 金	66

(*) 貸倒引当金 : 320,000 千円(2月末売掛金) × 0.5% (繰入率) - 1,534 千円(残高) = 66 千円

(*) 販 売 費 : 399,960 千円 + 66 千円(貸倒引当金繰入額) = 40,026 千円

(9) 製造原価

(借) 仕 掛 品	204,000	(貸) 材 料	127,500
		(〃) 労 務 費	21,250
		(〃) 変 動 製 造 間 接 費	21,250
		(〃) 固 定 製 造 間 接 費	34,000

(*) 直接材料費予算 : 42,500kg(材料投入量) × 3,000 円(材料費原価標準) = **127,500 千円**

(*) 直接労務費予算 : 85,000 単位(当月加工量) × 250 円(直接労務費原価標準) = **21,250 千円**

(*) 製造間接費予算配賦額 :

変動費 85,000 単位(当月加工量) × 250 円(変動製造間接費原価標準) = **21,250 千円**

固定費 85,000 単位(当月加工量) × 400 円(固定製造間接費原価標準) = **34,000 千円**

(借) 製 品	204,000	(貸) 仕 掛 品	204,000
---------	---------	-----------	---------

(*) 直接材料費予算 : 42,500kg(材料投入量) × 3,000 円(材料費原価標準) = 127,500 千円

(借) 操 業 度 差 異	6,000	(貸) 固 定 製 造 間 接 費	6,000
---------------	-------	-------------------	-------

(*) {85,000 単位(当月加工量) × 0.1 時間(標準作業時間) - 10,000 時間(基準操業度)} × 4,000 円(固定費率)
= 6,000 千円

(10) 売上原価

(借) 売 上 原 価	192,000	(貸) 仕 掛 品	192,000
-------------	---------	-----------	---------

(*) 80,000 単位(販売量) × 2,400 円(製品X原価標準) = 192,000 千円

(11) 法人税等

(借) 法 人 税 等	9,532.2	(貸) 現 金	9,532.2
-------------	---------	---------	---------

(*) 31,774 千円(税引前利益) × 30%(税率) = 9,532.2 千円

4. 2月末予算損益計算書 (単位: 千円)

売上原価	192,000	売上高	320,000
操業度差異	6,000		
販売費	40,026		
一般管理費	30,050		
研究開発費	20,150		
法人税等	9,532.2		
営業利益	22,241.8		
	320,000		320,000

5. 2月の現金勘定 (単位: 千円)

前月繰越	2,930	買掛金	129,058.8
売掛金	306,800	労務費	21,250
		変動製造間接費	21,250
		固定製造間接費	38,500
		販売費一般管理費等	90,101
		法人税等	9,532.2
		次月繰越	38
	309,730		309,730

6. 2月末予算貸借対照表の作成 (単位: 千円)

現金	38	買掛金	63,742.5
売掛金	320,000	その他貸方項目(差額)	324,661.5
貸倒引当金	△ 1,600		
製品	12,000		
材料	150		
仕掛品	975		
建物	15,000		
機械設備	199,400		
減価償却累計額	△ 157,559		
	388,404		388,404

7. ROIC

- ・ 運転資本: {331,563 千円(流動資産) - 63,742.5 千円(流動負債・買掛金)} = **267,820.5 千円**
- ・ 投下資本: {56,841 千円(固定資産) + 267,820.5 千円(運転資本)} = 324,661.5 千円
- ・ ROIC: 22,241.8 千円(税引後営業利益) ÷ 324,661.5 千円(投下資本) = **6.9%**

第2問 理論問題

解答参照